

## 第1章 計画の基本的な考え方

第1節 計画策定の趣旨

第2節 計画の期間

第3節 計画の位置付け

第4節 計画の前提となる社会状況

# 第1章

## 計画の基本的な考え方

### 第1節 計画策定の趣旨

本市では、平成15（2003）年4月に中核市に移行し、本市に保健所を設置したことから、保健医療に関する行政サービスを総合的に提供できる体制となりました。

そこで、本市においては、地域の現状を踏まえた保健医療の在り方とその実現のための方向性を明らかにすることを目的として、平成18（2006）年3月に「川越市保健医療計画」を、平成28（2016）年3月には、さらなる保健医療の充実を図るため、「第二次川越市保健医療計画」を策定し、保健対策の推進や医療体制の確保、保健医療の充実に取り組んできました。

また、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までを計画期間とする「第三次川越市保健医療計画」では、「保健衛生の充実」、「健康づくりの推進」、「医療体制の充実」、「社会保障の適正運営」の4つの基本目標を設定し、保健医療の充実に取り組んできました。

本計画は、第三次計画の次期計画として、社会状況の変化等に対応するとともに、「第五次川越市総合計画」の「福祉・保健・医療」及び「こども・子育て」分野の方向性の実現を目指し、さらなる保健医療施策の充実を図るため、令和8（2026）年度以降の取組を体系的に整理し、計画的に進めることを目的として策定するものです。

### 第2節 計画の期間

令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの期間を対象とします。

また、社会情勢の変化等に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

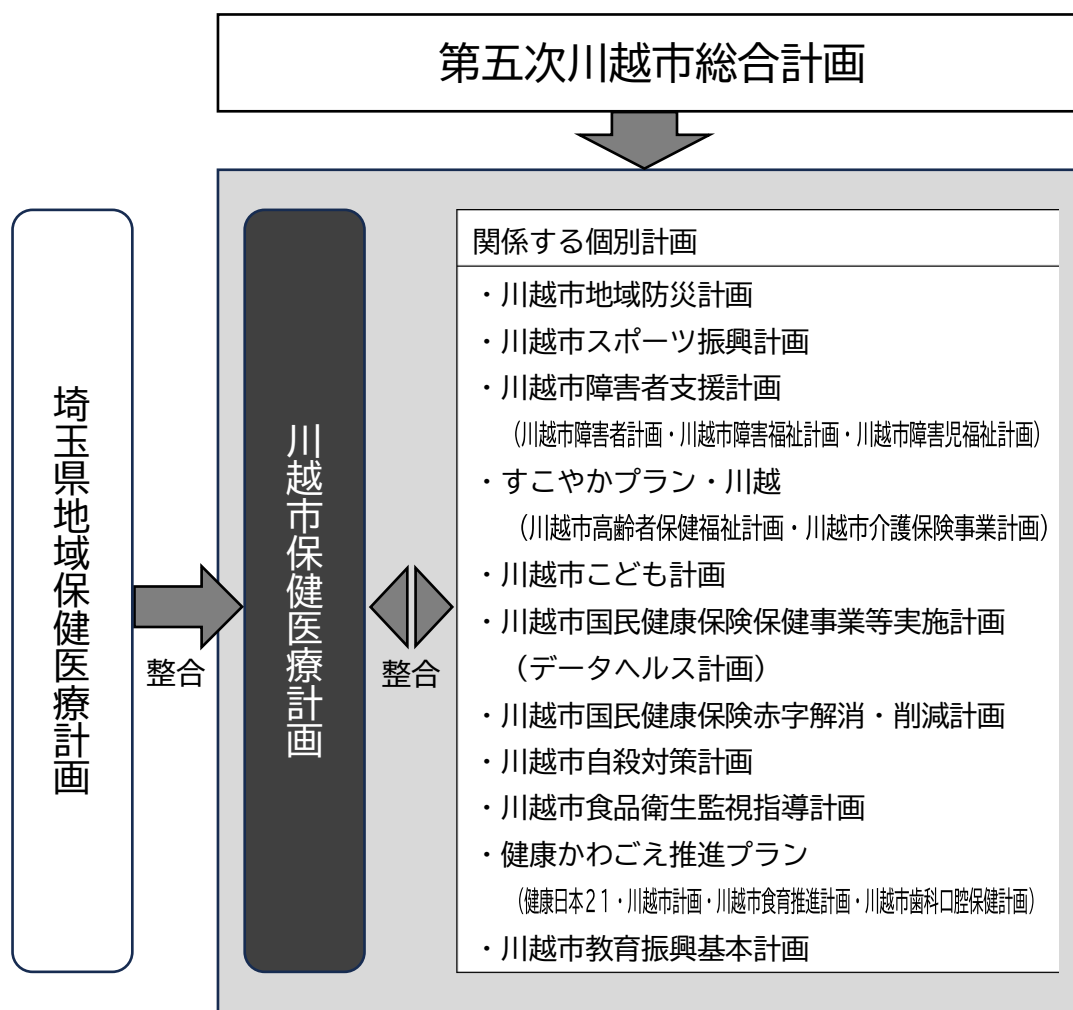
\*本計画は「第五次川越市総合計画」を上位計画としていることから、計画期間は「第五次川越市総合計画前期基本計画」に合わせ、進行管理を行います。

### 第3節 計画の位置付け

本計画は、法に定めのある計画ではありませんが、本市における保健医療に関する取組を体系化し、計画的に推進を図るために策定するものです。

本市のまちづくりを進める指針である「第五次川越市総合計画」を上位計画とし、本市の保健医療分野に係る取組の具体的な推進を図る個別計画として位置付けるとともに、国や埼玉県の方針・計画の方向性や本市における他の個別計画との整合性を図りながら策定するものです。

《川越市保健医療計画の位置付け》



## 第4節 計画の前提となる社会状況

### (1) [人口構造](#)等の変化に伴う医療需要の変化

令和3（2021）年1月時点における本市の65歳以上の高齢者は95,102人で、令和7（2025）年1月時点の95,678人と比較すると、高齢者人口は増加しています。また、計画の最終年度に当たる令和12（2030）年には、96,808人となることが推計されており、今後、高齢者人口はさらに増加することが想定されます。

いわゆる団塊の世代が75歳以上となった令和7（2025）年以降、医療や介護の需要はこれまで以上に増加することが見込まれており、人口構造やそれに伴うニーズの変化に対応した医療体制を目指す必要があります。

### (2) 健康課題の多様化

国では、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会を実現するため、個人の行動と健康状態の改善に向けた取組や誰もが健康になれるための社会環境の質の向上、さらに、胎児期から高齢期に至るまで人の生涯を経時的に捉えたライフコースアプローチを踏まえた健康づくりなどを進め、国民全体の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指すこととしています。

生活環境の向上や医療技術の進歩等によって平均寿命が延びた一方、ライフスタイルの多様化等による生活習慣病の増加、経済問題や人間関係を含めたストレスに起因するこころの問題等、健康課題が多様化しています。

こうした動向を踏まえて、健康への意識や生活習慣の改善を促し、健康寿命の延伸を図る必要があります。

### (3) 災害や感染症等への対応

令和2（2020）年から国内で感染が始まった新型コロナウイルス感染症の流行は、社会全体に大きな影響を与え、地域医療の様々な課題が浮き彫りになりました。

また、令和6年能登半島地震をはじめ、全国で様々な自然災害が発生しています。

こうした状況に対応するため、新たな感染症や災害に備えた体制の整備・充実に取り組む必要があります。

## (4) 持続可能な開発目標 (SDGs) の推進

平成27 (2015) 年9月、国連サミットにおいて「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択されました。SDGsは、すべての国を対象に、令和12 (2030) 年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。持続可能な開発のための17の目標 (ゴール) と169のターゲットから構成されています。

保健医療の分野においては、「目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」と深く関わるほか、健康な暮らしは他のあらゆる目標を根幹で支えるものであるといえることから、本計画の各施策を推進することにより、SDGsの推進にも取り組む必要があります。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

